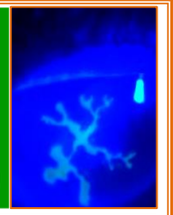
# フジタガンカニュース

Vol.156 2023.9.26



## 目の紫外線対策❷

ちょっと涼しくなって来ましたかね？やっとですが…良かったですとりあえず。しかし、気温もそうなんですが、新型コロナも少し減ってきている様です(あくまでも推定値によれば？ですが)。ちなみに入れ替わるようにインフルエンザが増えてきているみたいですね。そうした事で言うと眼科で伝染しやすい病気といえば「アデノウイルスの結膜炎＝流行性角結膜炎」が有名なのですが…これも最近増えています。コロナ対策で皆さんマスクやアルコール消毒、密な接触の回避等…数年間ずっと感染症に罹患する機会が少なすぎたみたいで、ここ最近で様々な感染症が凄く増えているんだそうです。感染対策を手厚くすると感染する機会が減りますよね？良い事なんですが、その分感染によって得られる抵抗力(専門的には抗体の生成という表現になります)が失われる？という事らしく…感染対策を緩和した５月以降はそういう状況が出てきているみたいなんですよね、コロナが増えるというだけでなく。もちろん、しばらくの期間を経てそれは収まって行くはずですし、これを経験しないと通常のライフスタイルは復元しないと思われます。しかしまさかこんな事が起こるなんて…感染症の専門家の方はこうした予測もされていたのかとも思いますが、実際に遭遇するとややビックリ！ですね、ホント。それでは前回号からの続き、サングラスについての話の続きです。

もしも小児や児童にサングラスが必須、義務化となったとして。小学校の登下校の集団が全員サングラスを掛けている…その状態を想像すると「流石にそれはやり過ぎでは？」と個人的には感じたりもします。日本の世間が文化としてサングラスを容認する空気感の熟成？でしょうか。現在の国内でサングラスの事を声高に叫んでも「まだ時期尚早なのでは？」って気もしますね、個人的には。で、まずは「サングラス推奨派」の先生のご意見を伺いたいと思います(ちなみにサングラスに完全反対派の先生はありません、流石に。推奨派に対しての「対立の立場」は「そこまではやらなくても良いのでは？というソフトな否定派」という事ですね。)

神戸新聞のネットニュースの記事。元国連職員の方で海外滞在経験の長い方のコメントと日本眼科医会理事の山本先生のコメントを掲載しています。

https://www.kobe-np.co.jp/rentoku/omoshiro/202307/0016637066.shtml

@@@